



かなざきひさを応援する会・会報30号 事務局 上山口 1878-9

Tel & Fax 878-7961 携帯 090-4076-2425 E-Mail kanazakihi@jcom.home.ne.jp

葉山町議会第1回定例会が開催されました。 期日平成18年2月23日～3月24日

○平成18年度予算が成立いたしました。

・歳入

三位一体改革による国からの税源移譲は、葉山町にとって大変厳しいものとなります。国からの配分が所得により、13%・10%・5%と3段階であったのが、オール10%とフラット化し、高額所得者の多い葉山町にとっては見込み額より大幅に下がります。

町税収入見込み額は、56億692万1千円で歳入の59.5%を占め、17年度より1.2%の伸び率を見込んでおります。

・歳出

主な新規事業・子育て支援センター設置準備事業。かなざきひさがその必要性和町立保育園が移設後の跡地利用を提案していましたが、いよいよ予算化されました。 (525万円)

・南郷上ノ山公園ドッグヤード設置工事。どなたも安心して犬を飼うことができます。

(160万円)

・戦争体験記録集発刊事業。町民の方の体験を6月の広報で募集し8月に締め切りそれを資料としてまとめ、4年生以上の平和教材として活用します。貴重な体験をお寄せ下さい。

(49万7700円)

・小学校耐震整備事業。上山口小学校校舎の耐震補強工事などをいたします。

(2億5795万1000円)

・没後25周年記念(仮称)堀口大学文庫開設事業。図書館2階に設置されます。

(611万9000円)

会計名	本年度予算額	前年度予算額	比較増減
一般会計	94億2300万円	97億2500万円	△3億0200万円
国民健康保険特別会計	約28億3848万円	約26億7939万円	約1億5909万円
老人保健医療特別会計	約25億5339万円	約25億8076万円	△約2737万円
介護保険特別会計	約19億1374万円	約16億8391万円	約2億2983万円
下水道事業特別会計	約17億4152万円	約19億4700万円	△約2億0549万円
合計	約184億7013万円	約186億1606万円	△約1億4594万円

○ かなざきひさの一般質問

(1) 障害者施策について

障害者自立支援法が施行され、障害者を取り巻く環境が大きく変化します。この法律の唯一評価されることは知的・身体・精神の3障害を同等に考えられたことです。障害別で対応の違う現在の福祉施策を根本から考え直さなければなりません。町長のお考えを伺いました。

質問と提案	理事者側の答弁
障害者自立支援法の施行により、障害者施策の見直しが必要と思うが、今後の予定は。	精神障害者も枠内に入れていくべきものと理解している。事業の在り方や財政状況などを考慮する必要があり、慎重に検討していく。(町長)
今年度精神障害をも含めた事業に雇用報奨金支給事業がある。月3万円の支給は本人に渡るのか。	事業所に支給するものであり、定かではないが、給料のかさ上げになるものと期待している。(福祉環境部長)
精神障害者手帳取得者の人数は。	1級22人、2級53人、3級15人 (福祉環境部長)
かなざきひさの考え 心身障害者手当支給事業などが今年度大幅カットされ、福祉の切捨てと議論がなされました。精神障害をも含めた新たな施策への転換期として、産みの苦しみとなるよう強く要望いたしました。	

(2) (仮称) 保育園・教育総合センター複合施設について

10月の開所に向け、消防庁舎裏に着々と建設が進んでおります。町長は発達につまづきのある未就学及び就学後の児童に対し、福祉と教育が連携して、一貫した療育を目指すという東日本で最も先進的な取り組みを行うと施政方針で述べておられます。この取り組みについて質問しました。

質問と提案	理事者側の答弁
現在の準備状況は。	一貫した療育に実効性を持たせるため、たんぽぽ教室において個別支援計画を作成し、保健・医療等を含めた協力体制の整備を行う。 (町長)
福祉と教育の連携のためのコーディネーターの人件費150万円が計上されているが。	スタッフとしての人材を確保する。 (福祉環境部長)
軽度発達障害を教育現場で見極めるためには、現場の教職員に対する研修も重要と思うが。	機会を捉えて、場所も確保できるので十分に対応して参りたい。 (教育長)
国において幼稚園と保育園の一元化が検討されており、「認定こども園」として10月からの実施を目指しているがご存知か。	調査した経緯はない。 (福祉環境部長)
「認定こども園」は親が働いていなくても利用できることと、経常費及び施設整備費などの助成がある。是非調査して欲しい。	新たな国の対応なので早急に調査をし、葉山に可能かどうかを調べる必要がある。 (町長)
かなざきひさの考え 教育委員会と福祉課との壁を取り払うことにより、障害を持つ人々の一生をスムーズに見守ることができま。そして必要に応じ手助けをすることが真の福祉行政と思います。この複合施設の建設が理事者側の福祉に関する考え方の変化を引き起こすきっかけになったように思われました。	

(3) 歳入を増す方策について

18年度予算を検証し、歳出削減の努力は随所に見られますが、歳入を増すアイデアがほとんど見受けられませんでした。今後の町財政にとって必要なことと考え質問しました。

質問と提案	理事者側の答弁
歳入を増す方策について。	今回は汚水処理施設使用料を改定させて頂いた。 (町長)
今後の予定は。	公平性を考慮し、適宜検討する必要がある。 (町長)
町民農園は休耕地の活性化にもつながるので有料にし、区画を拡大してはいかがか。	同感であるので考えてみる。 (町長)
葉山港において有料でも良いからバーベキュースペースが必要という要望が多いが検討してはいかがか。	許可権は県にあるので、今後協議していく。 (都市経済部長)
10月から有料事業所へのごみ戸別収集を廃止するが、その後のごみ処理の指導は。	クリーンセンターへの排出をお願いしていく。 (福祉環境部長)
18年度は有料事業所への収集手数料は304万円減となり、その分の直接搬入の処理費用を540万9千円見込んでいたが、近くのごみステーションに出されるという懸念は	可能性はあるが、持込の徹底をお願いしていく。 (福祉環境部長)
持込ができない状況の事業所もあると思うので、受益者負担のためにもごみ袋の有料化が必要ではないか。	他市もその方向に進んでいるが、新たな負担は慎重にしつつ、2市1町による広域対応も見据え必要性も含め方向性を研究する。 (町長)
アルミ缶と牛乳パックは資源として193万4千円の売り上げを見込んでいるが、分別して出した町民の前で燃えるごみとして巻き込んでしまった事例がある。職員に対して1円でも無駄にしないという徹底した意識の指導を。	大変遺憾である。クリーンセンター長を通して徹底させる。 (福祉環境部長)
かなざきひさの考え 何もかも税でまかなえるのが理想ですが、国の方針などのあおりを受け合併をしていない葉山町にとって大変厳しい財政です。今後は有料で良いから町民が楽しめることを企画するなどの考えも取り入れる必要があると思います。また、ごみの有料化は努力している人が報われるような施策に是非して頂きたいと思っております。	

お知らせ

長年課題にしておりました放置ボート対策について、会派の協力を得て平成16年12月1日に県へ新葉クラブ4人の連名で陳情を出しておりましたが、平成18年3月24日県の建設常任委員会です承され、今年中に完全撤去へ向け動いていただくこととなりました。このように結果を出せることに議員としての喜びを感じております。

今後とも、皆様方の身の回りで何かお気づきのことがございましたら、何なりとお申し付け下さい。取り組んで参りたいと思います。